

# Victory

NO.2

令和3年5月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

昨年より19日早い今年の梅雨入りでした。これからしばらくは、太陽の日差しや空の青さが恋しくなる日が続きそうです。

気持ちが塞ぎがちになる時期でもありますが、この時期思い浮かぶ言葉といえば『晴耕雨読』。自然の摂理にあわせて、自らの生活に工夫を重ねて生きていた先人の知恵を感じます。

私たちも気持ちを切り替えながら、日常を豊かに過ごしたいものです。



## SSH 図書コーナー



昨年度、本校はスーパーサイエンススクール（通称 SSH）校に指定されました。

探究的な学びを支える図書館の役割に情報の提供があります。

- 興味・関心を引き出すきっかけ
- 研究の成果を裏付ける役割
- 新たな「問い」を導く手だてとなる。

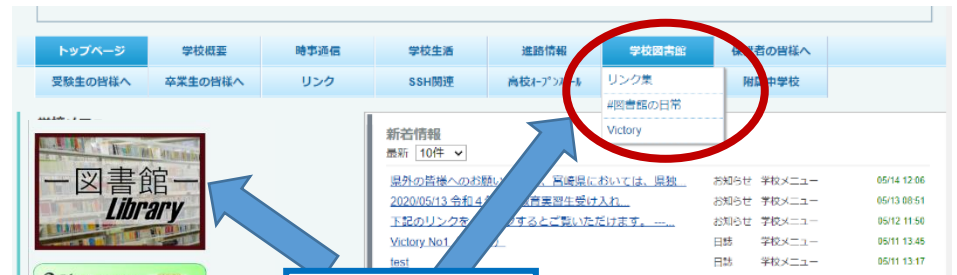
三つの観点から一人ひとりの探究活動が深まることを願って、自然科学系の図書資料160冊ほどを選定しました。「SSH 資料紹介 NO.1~4」を配布しています。貸出可能です。積極的に利用しましょう。



## 本校図書館のHPにアクセスしよう！

昨年度から学校 HP に「学校図書館」のページを作り、毎月の「図書館通信 Victory」を掲載してきました。今年度は、さらなるグレードアップを目指し、『図書館の日常』（本校図書館の情景を学校司書や図書委員が紹介していきます）、『リンク集』（調べるために必要なデータベースや無料の電子書籍のサイトで必要に応じた活用ができます）を増設しました。メディアセンターである図書館はみなさんの「学びを支援」する大切な機関です。

デジタル&アナログ情報の良き使い手への一歩をサポートします。



ここをクリック

下のページに移動します。



現在、上記のコンテンツを利用できます。今後も充実させていく予定です。



昨年度の分も含め、毎月の通信を掲載。

図書館の日常のあれこれを紹介。お見逃しなく！

# 棚からひとつかみ 『宇宙つながりで』

文学少女だった司書（小原）が様々な分野の本を読むきっかけとなったのは、「司書」として学校図書館に勤務するようになってからでした。知らない世界と出会うチャンスはどこに用意されているかわからないものです。

今回は、「宇宙」をキーワードにこの2冊。そういえば、5月26日は「皆既月食」。どうぞ、見られますように。



## 『宇宙を生きる 世界を把握しようともがく営み』

440イ 磯部洋明著（小学館）2019  
宇宙好き、物理学好きは一もこもなく著者の紡ぎ出す世界に引き込まれるでしょう。苦手な人にも著者の伝えたいことは、しっかり届きます。宇宙物理学を通して、専門的なことを述べながら、「学問とはなにか」「研究するとはどういうことか」という根源的な問いがそこにはあり、読者は今の自分の立ち位置からそのことを考える機会を得るのです。

## 『つきのふね』913.6モ 森絵都著

（講談社）1998

ノストラダムスの大予言が世間を騒がせ、スマホはまだ世に出ぬ23年前。時代背景は違えど、人が（特に10代が）抱える心のモヤモヤは変わることなく横たわる。「宇宙船」を設計する青年・智、あることがきっかけで絶縁状態になったさくらと梨利、彼女らを追いかける勝田。今を生きることにともがく彼らにとっての「月の船」は現れるのか。



## 【文学よもやまクイズ】

Q.世界的に有名な推理小説の「シャーロック・ホームズ」シリーズ60作品のうち、いちばん最初の作品はどれでしょう？

- A「まだらの紐」 B「緋色の研究」  
C「赤毛連盟」

頭の体操

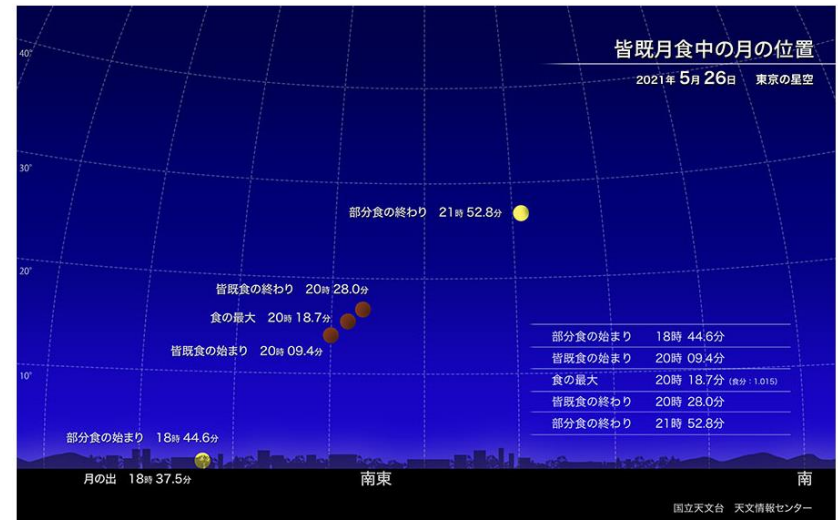


## 扉を開こう。新たな世界が君を待っている。

みなさんは、どんな時に自分が宇宙の一部だと感じますか？

当たり前のように空（宙）は広がっていて、考えてみたこともないかもしれませんね。毎年のように、神秘的な天体ショーは繰り広げられています。アンテナを立てていると、情報は引っかかるものです。

今回は、「皆既月食」。あわせて、『国立天文台HP』も紹介します。ぜひ、アクセスしてみましょう。もちろん、5月26日の夜空にも！  
**皆既月食(2021年5月)**



画像サイズ：中解像度 (2000x1265) 高解像度 (5500x3480)

国立天文台 HP (<https://www.nao.ac.jp/>) 「ほしぞら情報」より